



笹 渕 峰 尚  
(黎明親和会)

## デジタル地域通貨を導入しては

### 検討を続けたい

**問** 令和5年度に物価高騰対応などの商品券が市民に配布されたが、デジタル地域通貨を活用することで費用削減につながると考える。デジタル地域通貨導入に向けた市の検討状況は。

**答** 紙媒体の地域通貨に比べ、印刷・発送費用、発送期間の削減効果が期待される一方、システムの導入や維持管理費が高額となること、デジタル化に対応できない店舗、利用者への配慮など課題もあることから、先進自治体の事例などを参考にしながら、検討を続けたいと考えています。

**問** デジタル技術の活用格差解消であるデジタルディバイド対策の状況は。

**答** 令和5年度はスマートフォンの基本的な使い方などについて、ふるさと出前きらめき講座を9回開催し、延べ200人以上の方が参加しました。今年度はLINEの使い方などの講義を実施していきたいと考えています。

**問** 奨学金の取組状況は。

**答** 市育英基金を活用した市奨学金貸与事業の貸与人数は、令和元年度32名、令和2年度28名、令和3年度22名、令和4年度32名、令和5年度36名です。返済不要の田中孝奨学生教育支援事業については、平成29年度の開始から令和5年度までの給付決定者数は90名です。

**問** 給付型奨学金を増員する考えは。

**答** 給付決定者が定員を超える状況にないことから増員は考えていません。

**問** 奨学金返還支援事業の概要と取組状況は。

**答** 前年度に返還した奨学金の2分の1、上限10万円を最長5年間支援するもので、補助実績は令和4年度13件、51万円、令和5年度87件、415万5千円です。



氣 田 量 子  
(自民公明クラブ)

## 音声コードの活用を

### 庁内で情報共有を図っていく

**問** 視覚障がい者や高齢者など誰にでも優しい情報の伝達が必要と考えるが、その現状は。

**答** 視覚障がいのある方に対して、広報とわたの記事の内容を読み上げ録音したものを「声の広報」として配付しています。また、ホームページに音声データを掲載しているほか、拡大読書器や情報、通信支援用具などの購入費の一部を補助しています。

**問** 文字情報を2次元コードに変換したものをスマートフォンの専用のアプリを使ってカメラにかざし、その内容を音声で聞くことができるUni-Voice等の音声コードを市の印刷物や郵便物に掲載し活用してはどうか。

**答** 情報を得る環境の改善につながると認識しており、庁内関係部署と情報共有を図っていきたいと考えています。

**問** HPVワクチンキャッチアップ接種の実施は今年度末までのため、対象者に最後の個別通知をすべきと考えるが市の対応は。

**答** 7月中旬をめどに、はがきでの勧奨を予定しています。

**問** HPVワクチン接種の小中学校での情報提供を強化して欲しいと考えるが市の対応は。

**答** 小中学校で行われているがん教育を通して児童生徒に情報提供するよう呼びかけます。

**問** 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を何度も提案してきたが、市の考えは。

**答** 現時点で助成は考えていませんが、国で定期接種化に関する検討がされているため、今後も国や他自治体の状況を注視していきます。

**問** 高齢者の肺炎予防としてRSウイルス感染症の疾患の周知と予防の注意喚起をする考えは。

**答** 高齢者の集まる機会を捉え、関係課と協力し注意喚起を行っていきたいと考えています。